

経営比較分析表（令和3年度決算）

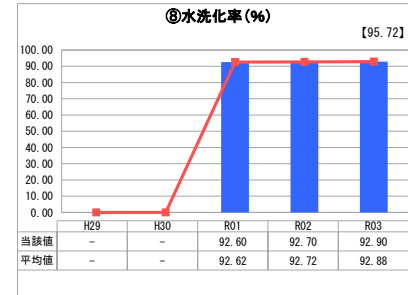
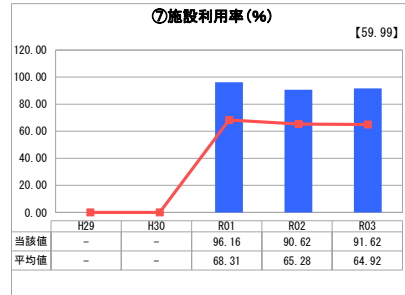
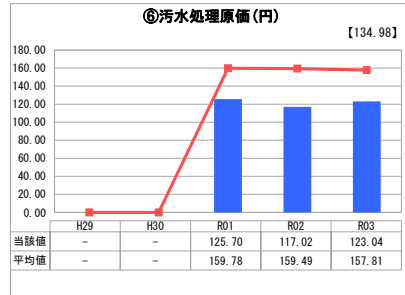
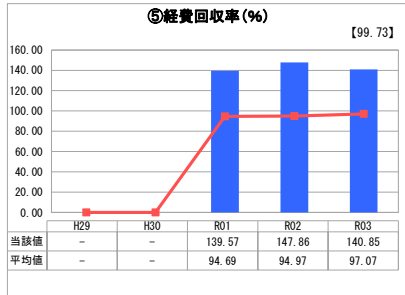
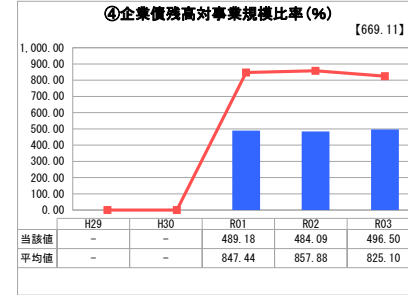
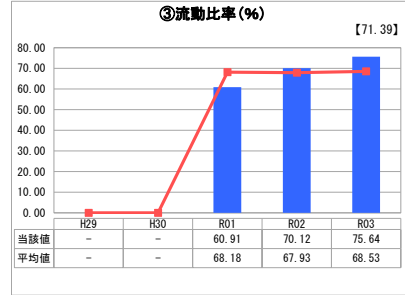
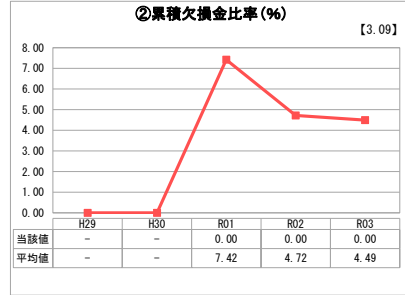
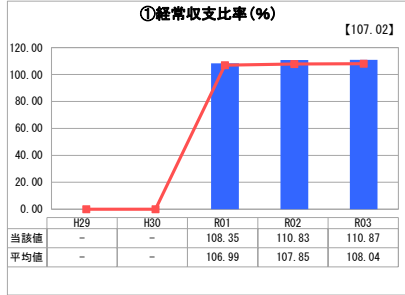
千葉県 茂原市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	71.81	34.61	71.14	3,080

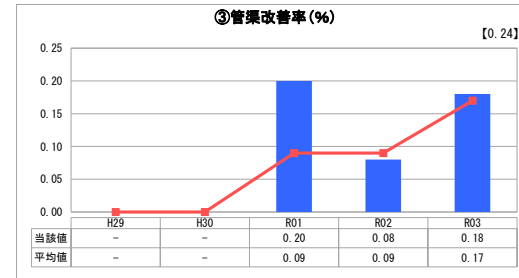
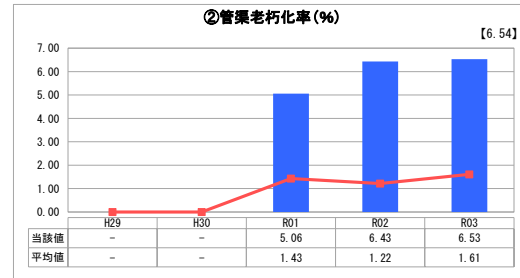
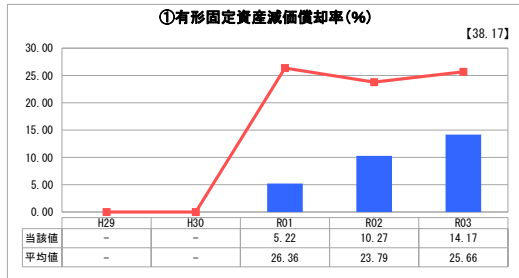
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
87,814	99.92	878.84
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
30,338	8.25	3,677.33

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[] 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は100%を超えているが、今後も健全経営を続けていくための更なる費用の削減等に努める。
 ②流動比率は100%未満であるが、流動負債の主なものは翌年度に償還する建設改良費等の財源に充てるための企業債であり、償還年度に見込まれる収入などが償還に充てられるため、当面の支払能力には問題ないと考えられる。
 ③経費回収率は100%を超えていることから、汚水処理費を使用料で賄っている状況であるが、更なる費用削減や設備更新投資に充てる財源を確保できるように努める。
 ④汚水処理原価は類似団体平均と比較して低い水準であるが、今後も引き続き老朽化を継続し水洗化率の向上に努める。

2. 老朽化の状況について

昭和47年の供用開始から50年が経過し、処理場・ポンプ場の施設及び管渠等の老朽化が進行しており、ストックマネジメント計画に基づき、改善・更新を実施しているところである。

全体総括

今後の施設老朽化に伴う改善・更新および維持管理や修繕に多額の費用が見込まれる中で、より適正な施設管理と健全な下水道財政運営が求められる。
 その中で、経年比較や類似団体との比較により現在の状況について状況を把握・分析を行い、下水道事業を将来にわたって持続的かつ安定的に運営を行うために、経営の健全化に努めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。